

- 大規模水害から犠牲者ゼロを実現するために行政、住民、企業は何ができるのか、東京大学大学院・片田敏孝特任教授よりご講演いただくとともに、地域の市町村長8名(蟹江町は副町長が代理)、企業2社のリーダーによるパネルディスカッションを行った。
- 片田特任教授からは、記録を更新するような気象災害が続いていることを受けて、大規模水害からの犠牲者ゼロにするためには、主体的な姿勢を持つ住民に対する「行政サービス」から「行政サポート」を構築していくことが大事である等、ご講演いただいた。
- パネルディスカッションでは、各自治体の取り組み状況や、『災害を自分事ごととすることが大事である。家族を守るのは「あなた」である。』等のリーダーからの思いを語っていただいた。

日 時： 令和5年11月19日(日) 13時30分～15時30分
会 場： 飛島村総合社会教育センター 中央公民館ホール
特別講演：「大規模水害からの犠牲者ゼロを実現するために何をすべきか」
講師 東京大学大学院 片田 敏孝 特任教授
パネルディスカッション：「広域避難の実現に向けたリーダーの思い」
進行 : 木曾川下流河川事務所長
アドバイザー：東京大学大学院 片田 敏孝 特任教授
パネリスト : 海津市長、愛西市長、津島市長、弥富市長、蟹江町副町長、
飛島村長、桑名市長、木曾岬町長、有限会社エフケーエル
代表取締役社長、トヨタ自動車株式会社 飛島物流センター長
来 場 者： 約 200 人

